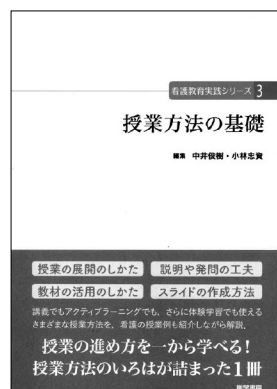


『看護教育実践シリーズ 3 授業方法の基礎』

授業経験と研究成果に 裏打ちされた 教育技法の入門書

シリーズ編集：中井俊樹，編集：中井俊樹，小林忠資／定価：本体 2,400 円＋税
発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



1999 年発行の『わかる授業をつくる看護教育技法 1 講義法』において，編者の藤岡完治氏は「たとえ一個の知識，一片の技術であっても，看護教員の身体化された教育技法を介することなく伝えることはできません。（中略）たかが技法されど技法なのです」¹⁾と述べている。初めて私が学生に授業をしたのは 2004 年。「わかる授業をつくる看護教育技法」シリーズには大変お世話になった。時が流れ，教育のパラダイムは学習パラダイムへと転換が求められている。本書はその時代の流れをふまえたうえで，読みやすく書かれている。

本書は，「授業方法の意義と指針」「授業の基本的な技法」「さまざまな場面での授業の工夫」の 3 部で構成されている。最初から続けて読んだほうが得られるものは大きい。しかし多忙な看護教員が 1 冊の本を読み終えるには多少時間を要する。編者も「はじめに」で述べているが，本書は目次を見て，自分に必要なところや興味があるところから読み始めても理解できるように書かれている。たとえば，発問が効果的にできないことで悩んでいるならば，2 部 5 章「発問を取り入れる」を，授業外の課題の出し方に悩んでいるならば，3 部 11 章「授業時間外の学習を促す」を，というようにである。後者には，授業時間外の学習の重要性を学生にどのように伝えたらよいか，どのように課題を作成すればよいか，どのように課題に取り組ま

せ，授業時間外の学習をどのように支援するのか書かれていて，悩みを解決するための力になるだろう。

著者の経験をもとに記載されている箇所が随所にみられ，どの章も「たとえば」がわかりやすい。授業外課題について，一例として，沐浴演習の事前学習をとりあげている。学生には沐浴の映像を見て手順をワークシートに書き取るだけでなく，映像を見てわからなかった点を列挙してくるという課題を出す。そして授業ではわからなかった点を中心に説明し，全体の手順を一から説明しないことをあらかじめ伝えておくと，事前学習の効果があがる，と記してある。このように，諸先生方が授業と真摯に向き合い，リフレクションを繰り返しながら獲得してきた方法がたくさん紹介されている。著者の経験と合わせ多くの研究成果を随所に用いて説明してあり，理論的に理解を深めてくれるものとなっている。

本書を 3 巻とする「看護教育実践シリーズ」は，今後，順次発刊される予定である。時代の要請に合った“質の高い看護師を育成する看護教員”を支えるシリーズがそろるのが今から楽しみである。

● 引用文献

- 1) 藤岡完治，堀喜久子，小野俊子編：わかる授業をつくる看護教育技法 1 講義法，3-4，医学書院，1999。